

極楽寺だより

長門市三隅下
野波瀬
0837(43)0625

御正忌報恩講のご案内

如来さまの大慈悲をあきらかにして、

私たちに浄土往生の道を示して下さいさつ

たご開山親鸞聖人の九十年のご苦労とご

恩徳を讃え、仏恩報謝の心をよせあつて、

大切につとめさせていただく報恩講。

浄土真宗では、もっとも大事なご法要で

す。お誘いあわせお参り下さい。

一月十四日(日) 昼一時半 夜七時

十五日(月) 昼一時半 夜七時

夜十一時

十六日(火) 昼一時半

(十六日は親鸞聖人のご命日。特に大切に勤めます。)

報恩講お斎のご案内

次の通り、お斎のご案内を申し上げます。

十五日	十四日	昼	夜
向山・久原・土手 中村・大竹・市・湯免 下中小野・辻並	豊原・平野・浅田・沢江 上ゲ・殿村・上東方 下東方・小島・町外	野波瀬東側	室生
野波瀬西側			

◆十六日は、お斎はありません。

お斎の受付のおねがい

野波瀬の世話人の方は、毎年のように担当区域のお斎の日のお世話をお願いします。

◇野波瀬東側の世話人

河村康昭・鼻野直行・中谷政雄
田村末夫・上田治男 のみなさん

◇野波瀬西側の世話人

斉藤達男・綿野節男・綿野良介
黒瀬彰己・高野芳雄・角村信忠 のみなさん

年回忌表

2007年(平成十九年)
昭和82年に当たります。

100 回忌	50 回忌	33 回忌	25 回忌	17 回忌	13 回忌	7 回忌	3 回忌	1 周年
明治41年 1908年 往生	昭和33年 1958年 往生	昭和50年 1975年 往生	昭和58年 1983年 往生	平成3年 1991年 往生	平成7年 1995年 往生	平成13年 2001年 往生	平成17年 2005年 往生	平成18年 2006年 往生

御正忌報恩講つて？

ごしよき

ほうおんこう

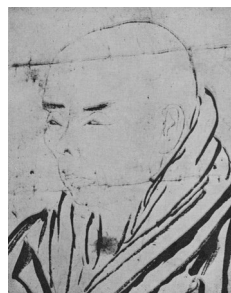
しゅうそしんらんしようにん

宗祖親鸞聖人の亡くなられ

た日をご縁として開かれる法

要です。親鸞聖人は七百五十

年も前に亡くなられましたが、



聖人がその一生をかけて明らかになされたお念仏

の教えは、それを生きる力、よりどころとした、

たくさんのお念仏者を生み育ててきました。そして

そのつながりが、今私たちのところに届けられて

いる。そんな真宗門徒の感謝の思いが報恩講とい

う仏事なのです。

報恩講のメインは親鸞聖人のための追善法要

ではありません。では、何が親鸞聖人のご遺徳に

本当に応える事になるのでしょうか？

それはお念仏の教えを通して、この私にかけら

れている願いをしっかりと聞いていくことに、他

なりません。

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要

二〇一一年四月〜二〇一二年一月

京都本願寺にて



お寺のお世話をして下さる、総代・世話人の皆さんです。

総代長	宮崎茂之さん(野波瀬)		
副総代長	藤田平二さん(仙崎)	総代	岡本長一さん(豊原)
総代	小林明さん(豊原)	総代	松野行利さん(野波瀬)
会計	木村慎治さん(野波瀬)	監査	野村昭一さん(上東方)
野波瀬西側	斉藤達男さん	市・湯免	名和田栄さん
	綿野節男さん	土手・中村・大竹	
	綿野良介さん	久原	山本弘樹さん
	黒瀬彰己さん	向山	山本寛さん
	高野芳雄さん	上東方	西村一夫さん
	角村信忠さん	下東方・小島	小林昭さん
野波瀬東側	河村康昭さん	豊原	岡村栄一さん
	鼻野直行さん		重岡幸作さん
	中谷政雄さん		宮本智さん
	田村末夫さん		石村政一さん
	上田治男さん	平野	山中洋介さん
辻並・中小野	上田耕作さん	浅田・沢江・上ゲ・殿村	磯昭正さん

長い間、有り難うございました。

- ◆ 安野高男さん(6年間在任)18年6月より後任・黒瀬彰己さん。
- ◆ 岡村秀穂さん(43年間在任)18年10月29日逝去。後任未定。

極楽寺大遠忌・継職法要記念事業 現状報告

時節柄大変なときに、ご懇志のご進納ありがとうございます。

① 正面参道の改修工事

◇平成十八年十一月末改修工事が完了しました。昭和五年新設以来、七十六年ぶりの補強・改修となりました。

② 内陣のご修復

◇御正忌報恩講が終わりましたら、如来さまの須弥壇の修理にかかります。
◇春法座が終わったら、如来さまの御宮殿・前卓の解体修理工事の予定です。

流行語よりも 若住職

今年もいよいよ終わりに近づきました。テレビでは一年を振り返り、りゆうごう流行語大賞なるものが発表されています。テレビや大人の言葉には、すぐに影えい響きょうを受けるうちの子どもたちですが、この前「お互い様じゃないか」と言うあせんと、「お父さん、それどういう意味？」とたずねられ、啞然としてしまいました。そうなんです。私たちは、流行語なんかはよく使うのですが、本当に大切にしなければならぬ言葉を忘れているのです。考えてみれば、責任を押し付けあうことはあっても、「お互い様」とかばい合う姿など、最近ではテレビでも見なくなっていました。言葉を使わないということは、心そのものまで見失っているということなのです。流行語よりも大切な言葉を、もう一度確認することから始めたいと思います。

極楽寺今年のご法座

◆一月一日 朝十時 (毎年) 元旦会

◆一月十四日～十六日 (毎年) 御正忌報恩講

◆四月二十三日～二十四日 春の永代経法要

講師 福岡 筑紫野市

願成寺住職 中川清昭師

◆五月二十一日 (毎年) 清光仏教婦人会の降誕会

※本堂内陣修復のため、夏法座は中止といたします。

◆八月十四日～十六日 (毎年) 盆法会

◆九月二十三日 (毎年) 納骨堂追悼法要

◆十一月二十九～三十日 秋の永代経法要

講師 秋芳町 明巖寺住職 中島昭念師

◆十二月十八日 (毎年) 清光仏教婦人会の報恩講

◆十二月三十一日 (毎年) 除夜の鐘つき 初礼拝

※夜の座へ、たくさんのお参りを願います。

除夜の鐘つきのご案内

毎年、極楽寺では、おでんを用意して、大晦日に除夜の鐘つきを致します。

熱々のおでんをほおばりながら、新しい年が明けけるのを共に味わいましょう。懐かしい人と再会できるかもしれませんよ。

打ち始め十一時五十分より。終了後、初参拝のお勤めをします。



年越しは、極楽寺で

元旦会 1月1日 10時から



時間は約三十分。家族全員でお参りされる家もあります。皆さんお参りいたしましょう。わが家のお仏壇も打敷ぶつだんをかけて飾り、新年を迎えましむか

プルトップ回収の御礼

空き缶のプルトップ回収に、いつもご協力下さり、ありがとうございます。本願寺山口別院を通して換金され、福祉用具を購入し、福祉施設へ贈呈されます。長門では、清風園・吉祥苑・恵光園に贈呈されました。

今年は、極楽寺に約25.3kgが集まりました。プルトップはひとつが約0.5gですから、単純計算でも**50,600個!**になります。

これからも、ご協力よろしくお願ひします。

清光仏教婦人会

